

ぷらっとホーム、BI ツールを搭載した IoT 専用サーバー 「OpenBlocks IDM シリーズ」の新モデル 「OpenBlocks IDM RX1」を発表

～オンプレミスでの IoT システム構築をリーズナブルな形で提供～

2021 年 7 月 21 日、ぷらっとホーム株式会社（証券コード：東証二部 6836、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：鈴木友康、以下ぷらっとホーム）は、「OpenBlocks® IDM シリーズ」の新ラインナップ、「OpenBlocks IDM RX1」（オープンブックス・アイデイエム・アールエックス・ワン）を発表しました。

コロナ禍で働き方も変わってきており、IoT の導入を検討する企業が増えつつあります。

しかしながら、クラウドを使った IoT システムでは、企業の内部情報をインターネット経由で外部サーバーに送ることに躊躇する企業も少なくなく、また、各企業独自要件でのカスタマイズになる為に膨大な費用がかかり、コスト面から簡単に導入はできるものではありませんでした。

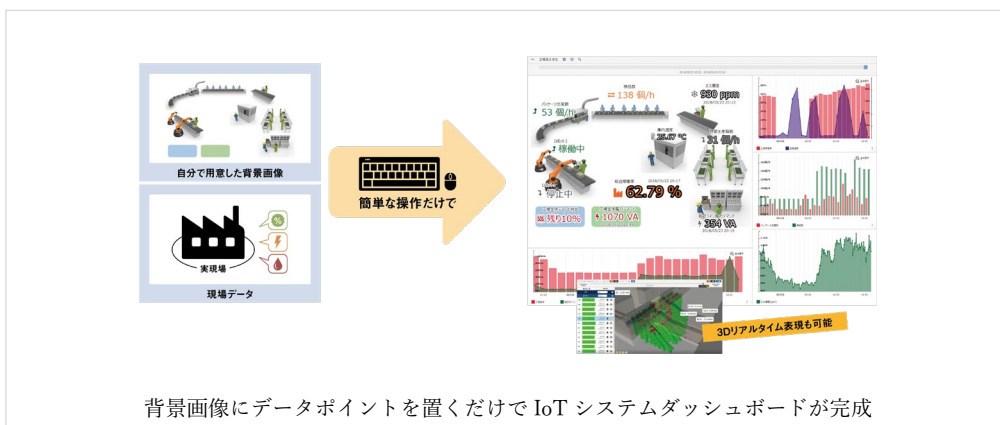


OpenBlocks IDM RX1 本体写真

オンプレミスで使える IoT 専用サーバーである「OpenBlocks IDM RX1」では、こういった問題を解決する為、従来、SIer などの専門業者でのカスタマイズが必要であった BI ツールをプリインストールに変更し、エンドユーザーが独自に BI ツールを使えるようにしただけでなく、価格も導入しやすい価格に設定しました。

「OpenBlocks IDM RX1」製品特長※3

- ・プレゼンテーションソフトの感覚でカスタマイズできる BI ツール「RealBoard」搭載。



プログラミングなしに 4 ステップで IoT データの可視化が可能で、複数データを一つのグラフでの表示や、3D リアルタイム表現、カメラのタイムライン画像の表示もできます。



・ IoT に最適な時系列データベースで超高速なデータ読み込み及び書き込み
一般的なデータベースに比べ数倍以上と圧倒的な高速読み込み、書き込みが可能な、高性能 KeyValue 型データ機能を搭載。IoT 機器から取得した時系列データはデータの値の大きさが揃わないなど特殊性があり、行指向のリレーショナルデータベースでは検索や各種機能の対応が難しい場合がありますが、そういった場合でも、超高速で時系列間隔の異なるデータ同士を比較、統合したり、データの CSV 出力が可能です。

・ 堅牢でコンパクトなハードウェア
HDD やファンといった可動パーツがないファンレス設計で、耐熱、防塵で堅牢。既存ネットワークへの追加購入でも、1U ハーフサイズのコンパクトサイズで置き場所に困りません。

ラインナップ・価格

■ OpenBlocks IDM RX1

型番：OBSIDMRX1

価格(税抜): オープン (市場想定価格 385,000 円) ※5

製品仕様※6

■ ソフトウェア仕様

● データ収集機能

IoT センシングデータ※7、CSV※7、画像※8 など、さまざまなデータを収集します。

対応入力デバイス：BLE・EnOcean センサー各種 (例：温湿度/照度/人感/気圧/加速度/音圧/電力/開閉/CO2) / PLC / その他 RS-485 対応デバイス

- データ蓄積機能
データ収集機能で取り込んだデータを OpenBlocks IDM RX1 内部に蓄積します。
 - 時系列データ基盤
収集データを保存する IEEE 1888 に準拠した時系列データベースです。
 - バックアップ機能
データベースを指定の場所にバックアップします。

- データ出力機能
収集したデータを出力し、他の生産管理システムや業務システムで利活用できます。
対応出力データ形式：CSV 形式

- 可視化機能
ブラウザから操作・閲覧できる専用の UI でグラフやタグの位置情報の可視化ができます。
 - ダッシュボード
チャートの設定・マップの設定・ポイントデータの編集や、データの閲覧を行う機能です。
主な機能：ダッシュボード新規作成 / ダッシュボード編集 / ダッシュボード名の設定 / 期間の設定 / タイルの配置 / リソースの割り当て
 - チャートの設定
時系列データを線グラフや棒グラフ、ステップグラフ、文字ラベルなどで可視化します。また時間ごとに集計（平均・合計など）した結果をプロットすることもできます。
主な機能：チャートリストの新規作成 / チャートの新規作成 / チャートの縦軸とグラフ設定 / チャートの期間設定 / チャートの名前設定
 - タグマップの設定
タグ（ビーコンなど）の位置情報を可視化する機能です。
主な機能：タグマップの新規作成 / タグマップ編集 / タグマップ名の設定 / 期間の設定 / 背景画像の設定 / エリアの新規作成 / エリアの一覧 / エリアの編集 / タグの一覧 / タグの新規作成 / タグ設定ファイルのインポート / タグマップの表示
 - ポイントデータの表示と編集
ポイントとはセンサーデータやログデータなど時系列順に発生するデータを定義します。ポイントのデータは時系列データベースに保存され任意の期間に対して検索をかけて読み込んだり、指定したタイムスタンプで新しいデータを書き込んだりできます。
主な機能：ポイントの一覧 / ポイントデータの検索 / ポイントデータの書込 / ポイントデータの削除

- システム管理機能
チーム・ユーザーの作成や権限の管理、ポイントの管理を行います。
主な機能：チーム新規作成 / ユーザー新規作成 / チームメンバー追加 / ポイント新規作成 / データサーバ登録 / ポイントリスト Excel ファイル編集 / ポイントリスト CSV ファイルインポート / チームポイント追加

- プログラミング機能^{※9}
視覚的にプログラミングできる Node-RED 搭載。収集したデータの加工やクラウドサービスとのデータ連携ができます。

■ ハードウェア仕様

- 外部インターフェイス
 - Ethernet^{※10}：10/100/1000 Base-T x 4
 - USB(Console)：MicroUSB type-B x 1
- 筐体サイズ
 - 194(W) x 177(D) x 42(H)mm (ゴム足含まず)
- 重量
 - 約 1,160g
- 動作温度 / 湿度^{※11}
 - -20°C~+50°C / 20%~80%RH
- 保存温度 / 湿度^{※11}
 - -30°C~+70°C / 20%~95%RH
- 消費電力
 - アイドル時：12.5W (19.6VA)
 - 高負荷時^{※12}：18.1W (26.5VA)
- 電源
 - 形状：内蔵 AC 電源 (内蔵 AC 電源用電源ケーブル AC100V 用 1 本標準添付)
 - 入力：AC100-240V ±10% 50/60Hz ±3Hz
- 電気安全規格
 - IEC62368-1
- EMC 規格
 - VCCI Class-A 適合
- 環境保護
 - RoHS 指令 PFOS 規制 省エネルギー法

出荷開始日

2021 年 8 月予定

関連 URL

- 「OpenBlocks® IDM RX1」製品情報
<https://www.plathome.co.jp/product/openblocks-idm/rx1/>
- 画像ダウンロードページ (メディア向け)
<https://www.plathome.co.jp/photo-download/openblocks-idm-rx1-photo/>

旧 OpenBlocks IDM アプライアンスをご検討、ご利用中のお客様へ

旧製品「OpenBlocks IDM アプライアンス (型番 OBSBPV4/IDM)」は、本製品の発売をもって販売を終了致します。

ぶらっとホームについて

ぶらっとホームは Linux サーバー・IoT ゲートウェイの開発製造大手です。1993 年の創業より Linux サーバーのパイオニアとして、通信やネットワーク分野に自社製コンピューターを供給してきました。代表的な製品である超小型 Linux マイクロサーバー「OpenBlocks®」は、大手通信事業者をはじめ、物流、輸送、金融、エネルギー産業、官公庁など日本の社会インフラを支える様々な領域で採用されており、成長しつつある IoT (Internet of Things: モノのインターネット) の分野でも Linux サーバーをベースとした当社の IoT ゲートウェイは大きな注目を集めています。

本発表に関するお問い合わせ先

報道機関からのお問い合わせ先：

- ・ぶらっとホーム株式会社 製品マーケティング部
pr@plathome.co.jp
Tel 03-5213-4373 / Fax 03-3221-0882

お客様からのお問い合わせ先：

- ・ぶらっとホーム株式会社 営業部
sales@plathome.co.jp

Tel 03-5213-4370 / Fax 03-3221-3766

- ※1 ぶらっとホームおよび Plat'Home の名称・ロゴは、日本国およびその他の国における、ぶらっとホーム株式会社の登録商標または商標です。
- ※2 本プレスリリースに記載されている会社名および商品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。
- ※3 IoT システム構築では、システム構築以外にセンサーなどの設置における調整が必要となり、それらをご用命の場合は、システム業者、設置業者などの別途費用がかかります。
- ※4 カメラ画像はハメコミです。
- ※5 本体購入時、初年度の保守サポートの申し込みが別途必要です。
- ※6 外観・仕様・価格等は予告なく変更する場合があります。
- ※7 別途 IoT ゲートウェイ製品（OpenBlocks IoT シリーズ）が必要です。
- ※8 画像を送信する際は別途専用 API を使う必要があります。
- ※9 FW の機能拡張より別途インストールが必要です。
- ※10 Auto MDI/MDI-X 対応。
- ※11 結露なきこと。
- ※12 全イーサネットポートをリンクアップし、stress コマンドにより CPU100%の状態にして計測。